



テトラックPG

ポーラス エコロジカル コンクリート



本来、生態系の復元には、「空気・水・土」の3つの要素のつながりが必要不可欠であるといわれています。P.E.C.は「人の手による開発行為」と相反する「生態系保全」を結びつける仲介役として環境に融合し、同時に強度を併せ持つ素材です。

P.E.C.の4大特長

信頼の強度

特殊製法の採用で、より大きな骨材間の融合面積と結合力を生み、信頼いただける強度を実現しました。

大きな連続空隙率

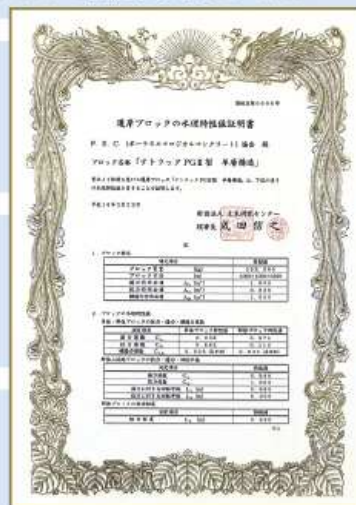
連続空隙率（連続空隙率容積／全空隙率容積）が大きいため、透水性に優れ、植物が生育しやすくなります。また吸音効果や水質浄化機能も兼ね備えています。

緑化ノウハウの積極的収集・活用

各施工実績現場にて追跡調査を実施しております。植生の復元による修景、生態系の回復状況を確認することで、今後の工法の提案に役立てています。

高水準

「ポーラスコンクリート河川護岸工法の手引き」に準じる、強度重視タイプ（設計強度18N/mm²以上、連続空隙率18%以上）を実現しました。



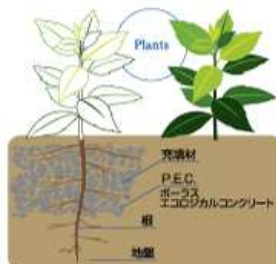
財団法人土木研究センターの水理特性値証明済

護岸ブロック緩勾配規格選定一覧表

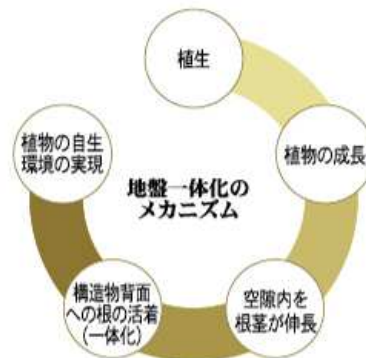
テトラックPG

規格	ブロック質量 (kg)	対応流速 (m/s)	明度低減	法面の植生	水際の植生	背後地透水性
I型	519	4.9	○	○	○	○
II型	353	4.2				
III型 (160)	241	3.5				

×：期待できない △：ある程度期待できる ○：期待できる
設計対応流速は護岸勾配1：2.0・設計水深5.0mでの計算値です。



ポーラスエコロジカルコンクリートは、製品内の空隙が適度な含水、根の伸長促進、種子・被覆土の流出抑制などの様々な効用をもたらす、生態系における植生の遷移を促します。このことで植物の自活と地盤の一体化が共に創り出されるのです。



施工例



現地発生土+種子吹付

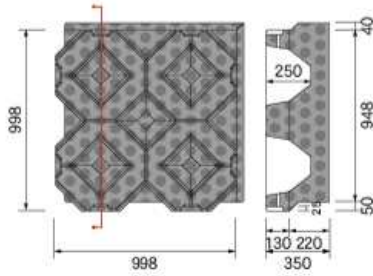


裏込コンクリート+現地発生土

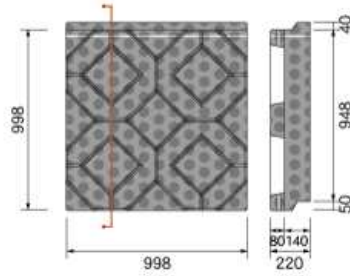


単体図

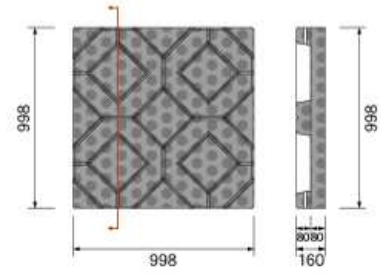
I型 (厚さ 350mm)



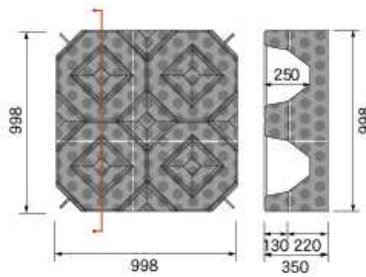
II型 (厚さ 220mm)



III型 (厚さ 160mm)

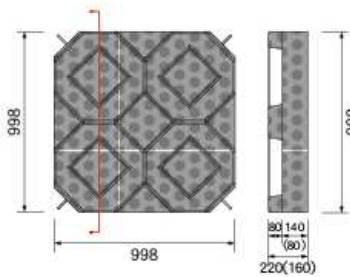


S I型 (厚さ 350mm)

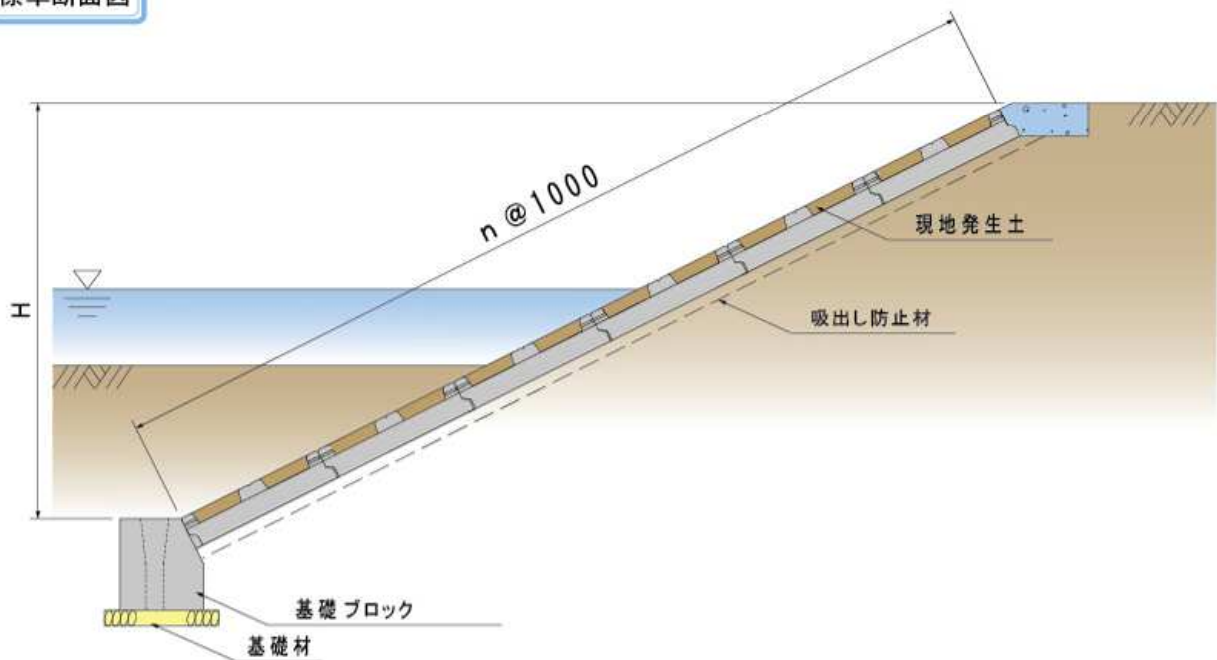


S II型 (厚さ 220mm)

S III型 (厚さ 160mm)

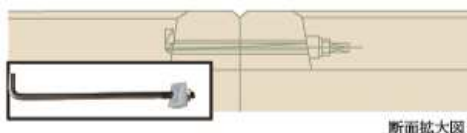


標準断面図



ブロック連結について

I型・II型・III型



SI型・SII型・SIII型



呼び名	参考質量 (kg)	価格 (円)	寸法 (mm)	中詰量 (㎡ / 個)	備考
I型	519		998×998×350	0.064	
II型	353		998×998×220	0.032	
III型	241		998×998×160	0.032	
SI型	529		998×998×350	0.074	
SII型	351		998×998×220	0.038	
SIII型	239		998×998×160	0.035	

製品明度

平均明度	3.0
証明書番号	0507号

明度 3.0程度

